

スカウト 尾張東	新地区役員挨拶 各団の活動紹介 外国へ行ってきました 私の団の指導者を紹介します	創刊号 平成 23 年 12 月 11 日 編集・発行 日本ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区 組織委員会 編集責任者 野村 典孝
------------------------	---	--

地区紙発刊に寄せて

尾張東地区協議会長

横江 昭憲

尾張東地区コミッショナー

中谷 洋



地区組織委員会の皆様の努力により地区紙が発刊されることは、誠に喜ばしい事であります。途中で途切れることなく続けていくには、地区役員、編集委員の皆さん、地区構成員の協力を必要とされると思います。皆様方のお力添えで地区紙の前途が、ますます広がって行くことを祈念して挨拶に変えます。

地区組織委員会の皆様の努力により地区紙が発刊されることは、誠に喜ばしい事であります。途中で途切れることなく続けていくには、地区役員、編集委員の皆さん、地区構成員の協力を必要とされると思います。皆様方のお力添えで地区紙の前途が、ますます広がって行くことを祈念して挨拶に変えます。

尾張東地区委員長

井上 勲

皆様のご協力により、この 4 月から、尾張東地区として



県下№1 の加盟員を誇る地区として新たなスタートをきることができましたことに、厚くお礼申し上げます。さて

、今回の機関誌の発刊により、地区内の情報伝達や交流の機会として、また、地区の活性化の一助となるよう皆様で盛り上げて頂き、今後、地区に無くてはならないものとして内容の充実を図られることを期待します。



新しい地区がスタートして半年あまりが経ち、多くの方が各々の役務にご努力いただいた結果、少しずつ地区として機能し始めたと感じています。

この機関誌「隼」も組織委員会の方々の熱意で早々に発刊の準備が整いました。このように、地区が大きくなったことで、知識や技能が集約され、これまでになかったアイデアや工夫がスカウトのサービスに、団や地区運営に活かされると思うとわくわくします。

そのためのツールのひとつとして、この機関誌が利用されることを期待しています！

「かすがいまつり」

春日井第 5 団ビーバー隊

伊藤 秀太

おちあいこうえんのれんしゅうは、つかれたけどたのしかったです。「ほんばん」だともったらすごくきんちょうしました。あさみやこうえんのれんしゅうは、きんちょうしたけどじょうずにできました。おもしろかったです。かすがいまつり「ほんばん」は、れんしゅうとちがって、めちゃくちゃきんちょうしました。

「うちわ」をふるのは、たのしかったです。ちょっとつかれました。

献血ピラ配りと五条川清掃奉仕

大口第1団 ボーイ隊
前田 裕哉



僕は9月24日に献血のピラ配りを手伝って、その後、五条川の清掃奉仕を行いました。ピラ配りにおいては、僕のフクロウ班は、残り1枚まで配りました。あと1枚が残ってしまい残念でした。清掃においては、最初はなかなかゴミが見つかりませんでしたが、後の方で、結構たくさんあったので、できる限り拾いました。

次にまた同じような活動があったらまた一生懸命、みんなでやろうと思いました。

町民体育祭での奉仕

大口第1団 カブ隊
中西 祐里

町民体育祭で、赤い羽根のぼきんをしました。私は、お友だちやお友だちのお母さんにぼきんをしてもらえて、とてもうれしかったです。



中村 文咲

ぼきんのあとに缶ぽっくりを作って、組できょうそうをしました。リーダーにも勝って楽しかった



恒例の芋煮会

江南1団

平成23年10月16日、毎年恒例の芋煮会&団総会を行いました。これを食べなきゃ江南1団の1年は始まらないですっ!!!



団委員が芋煮を、ボーイ隊が焼そばを、ベンチャーが焼き芋を担当。スカウト達も年々料理の腕が上達してきたか??!!

スカウトを始め総会に出席する父兄やスカウト予備軍の弟や妹が堪能しました。



“動く車”づくり

瀬戸第1団 カブ隊

5月に組対抗で“動く車”を作りました。組集会で設計を相談し、材料集めや組み立てをみんなで協力して行いました。できあがった車でレースを行う予定でしたがあいにくの雨で、レースは延期となり、夏の舎営で組対抗レースを行いました。



たのしかった夏のキャンプ

小牧2団 BVS隊

岩瀬 左帆（いわせ さほ）

わたしはだんのキャンプで8月5,6,7日にながのけんのキャンプ場にきました。

2日目に川あそびをしました。水でっぼうであそんだり、ダムをつくったりしてあそびました。

川の水はつめたくて、きもちがよかったです。ちょっとふるえました。らい年もいきたいです。

隊長より～夏に団キャンプで桑原キャンプ場に行った時のことが昨日のことのよう思い出されました。みんな楽しくがんばりましたよ。



いねかり

春日井4団 ビーバー隊

副長 市川 美恵

今日もいい天気！晴れ女の隊長のおかげで、活動はあまり雨になったことはありません。スカウトは、左手には軍手、右手に鎌を持ち、いざ！たんぼへ。一列に並び、自分の前の稲の束を一束ずつしっかり刈っていきます。刈った稲は、リーダーと保護者、お手伝いに来てくれたカブ隊の数名がどんどんはざかけをしています。道具は正しい使い方を教え、その通り使えば、小さくても上手に使えます。大事なことは安全を大人が確保することです。上手に最後まで作業する姿に成長を感じました。その後、すっかり刈り取られた田んぼからは、カエルやイナゴやバッタがお目見えし、子どもたちは、大喜びで虫を追いかけていました。刈り取った稲は12月の餅つき大会でみんなのおなかの中へ入ります。私はそっちが楽しみです！



サンタさんに会いたいな

春日井3団 ビーバー隊

やまさき みほ

このまえのしゅうかいで、クリスマスリースをつくりました。 つくったあとは こうえんでもあそんだので とてもたのしかった。ほんもののサンタさんにあいたいです。

いつもげーんーき

瀬戸第1団 ビーバー隊長

加藤 尚美

瀬戸1団ビーバー隊です。

“楽しい活動”をモットーに、デーキャンプやハイキング、七夕やクリスマスなど季節に応じた活動や、地域の行事にも積極的に参加します。先日の招き猫祭りにはフェイスペイントして参加しました。



スカウトの日

北名古屋第2団 CS隊長

西下 秀志

9月25日 ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊は『スカウトの日』のプログラムで 空き缶拾い ペットボトル回収 ゴミ拾いを 実施しました。当初は9月4日の予定でしたが、あいにくの天候のため延期となり アクションシートを使っのカードゲームをしました。スカウトは自分達にできるE C Oについて真剣に考えました。スカウトはゴミ拾いもゲーム感覚ですが、空

き缶や空ボトル、ゴミなどの分別をして収集しました。こういった活動を通して地球環境のことや地域社会での役割など、考える心の育成をしていきたいと思います。



「ドキドキワクワク春日井まつり」

春日井第4団 カブ隊

二宮 梨緒

私は、10月16日(日)の春日井まつりのパレードに出ました。パレードでは、「カスガイマツリ・オメデトウ」という文字を手旗で作りました。自分的には、バラバラかな？と思ったけど、隊長やいろんな人がそろっていたよ！と言ってくれたのでうれしかったです。まわりの人のはく手で勇気をもらいました。私は、少し失敗してしまったけど、あまり気づかれなかったようなので良かったと思いました。パレードが終了して中央公園に行く時足がすごくいたくて、もうクタクタでした。でも、いいえんぎができたかなと思います。本当にドキドキワクワクしました。



私はウルフカブを取りました。

ボーイスカウト春日井 10 団

今年 9 月より BS 隊 後藤 友里

私は春日井第 10 団で第一号のウルフカブを取りました。とても嬉しかったです。これが取れたのは、お父さん・お母さん・隊長やリーダーが応援してくれたからだと思います。これからはボーイスカウトとして、またバッジをたくさん取っていきたいです。



いかだ下り

江南第二団 カブ隊

山本竜也

いかだ下りでいちばん楽しかったのは、いかだを作るところです。なわでタイヤとタイヤを結ぶところがおもしろかったです。

みんなといかだ下りができてとてもうれしかったです。



成長のあかし

瀬戸第 6 団 カブ隊

小川 優輝 保護者 小川 万里

いつの頃からか息子が目標としていた、「スーパーカブ」になることができました。カブ過程の 3 年間あれば余裕で全部取得できると考えていたチャレンジ章。いくつもの課題があり、また長期に渡り観察を続けなくてはならない課題、調べてノートにまとめなくてはならない課題が複数あり、学校の宿題や他の習い事、学校での運営委員の活動との両立が大変でした。「ノートを上手にまとめられる子は、頭が良くなる。」そんな話を聞いていたため、ノート作りの勉強を兼ね、初めは試行錯誤で親子で取り組んでいました。

うさぎの過程では、私のアドバイスを受けながら取り組んでいましたが、しかの過程になった頃から自分自身で課題をこなしていきました。現在は 4 月から学生となった母と 5 月から水泳選手となった妹のため、とても忙しくなってしまった家庭を支えてくれる頼もしい存在となっています。自分のまとめたチャレンジ章のノートの料理レシピを見ながら料理を作ってくれたり、どこかでレシピを調べては料理を作ってくれます。また、さりげなく他の家事もお手伝いしてくれたり、これは彼が生まれもった性格もあるかもしれないのですが、チャレンジ章で学んできた成果でもあるのかなと思っております。この経験は今後の彼にとって大きな財産となっていくでしょう。



最後に息子のチャレンジ章全取得に際し、ご指導いただきました隊指導者の皆様に厚く御礼申し上げます。

キャンプはたのしい

春日井第8団 カブ隊
山下 ケン

5月3日から5日まで信州高遠少年自然の家へ行きました。いろいろなことをしましたが、心に残ったのは2つです。まず一つは、キャンプファイヤーです。「ちょっとの間、空を見ていてください。」と言われたのでじっと見ていると、初め、星は全然見えませんでした。しばらくすると、空が星でいっぱいになりました。星は大きくて、すごく、すごく、きれいでした。二つめは食事です。自分たちで作ったスパゲティーはとてもおいしくて、おかわりをしました。帰りは6時間ぐらい車に乗っていたので、つかれました。でも、とてもたのしかったです。



ハイキングに行きました

春日井第8団 カブ隊
古藤 大雅

ぼくは、高ぞう寺の山にみんなでハイキングに行きました。せまい道を歩いていたら、ヘビがいました。はじめて、本物をみたので、びっくりしました。ちょっとこわかったです。山のちょうじょうで食べた、おにぎりはおい

しかったです。山をあるくのは、つかれたけど、いつもとはちがうものをいっぱい見れて楽しかったです。

たのしいことが いっぱい

春日井3団 カブ隊
やまさき なつみ

こんどのクリスマス会で作るメニューをみんなでかんがえました。クリスマス会でおりにょうりするの たのしみです。

はやく こんどのしゅうかいがきてほしいです。新しいおともだちもくるのでそれまたのしみです。

らいねんの おもちつきもたのしみです。

「春日井祭り」

春日井第5団カブ隊
平山 りゅうや

ぼくたちカブたいは、手旗行進をすることになっていたの合同練習を二回もしました、ぼくは、じゃんけんで勝ったので隊旗の旗手になることができました。手旗は、まちがえないようにきんちょうしましたが、手旗はまちがえる事がないので良かったです。出番が終わった後にインドの人や、ドイツの人とお話しをしたり、写真をとったりしました。次に中央公園にいきエコクイズをしました。なんだかんだで楽しい一日でした。

「春日井祭りの感想」

春日井第5団 カブ隊
大森 慶紀

ぼくは10月16日に春日井祭りのパレードに参加しました。手旗信号で「お・め・で・と・う」をやりました。公園で練習した時はできたけど、本番は人がいっぱいいたから緊張しました。でも練習を思い出して間違えずにできてよかったです。パレードが終わって隊長さんがごほうびにラムネを買ってくれました。

すごくおいしかったです。
くまスカウトのぼくにとって最後の手旗信号
はいい思い出になりました。

夏のキャンプのおもいで

小牧第1団 カブ隊

しか 岡野 耕大

今年のだんのキャンプは、ぎふけんのかみいしづ
のキャンプ場にみんなでバスにのって行きました。
ときどき雨がふったりして活動がたいへんでした
が、いっぱい思い出をつくる事ができて楽しかった
です。ロウソクを作ったり、みんなでごはんを食
べたりして家ではたいけんできないことがたくさん
できました。一番思いでにのこっているのは、キャン
プファイヤーの時、組のみんなとまもるのおきて
のかえ歌をみんなの前でうたいたいのしかったで
す。
これからもカブたいでいろんなことを学んでがん
ばっていきたいです。



夏キャンプ

小牧第1団 カブ隊

しか 伊藤 直

私が、夏キャンプで楽しかった事は二つあります。
一つ目は、竹の水てっぽうを作ってあそんだ事
です。理由は、竹の水てっぽうを作っていて、竹を
切る時、本当はしかスカウトからくまスカウトしかや
れなかったけど、うさぎなのにやらせてくれた事
です。竹を切るのがとても楽しかったです。水てっ
ぽうがかんせいしたら、水てっぽうであそびました。

天ぱく君や、ふみやくんにとっても水をかけられ
て私の洋服が水びたしになってしまいました。で
も、楽しかったです。二つ目はハイキングです。
早くポイントを集めて、一番にゴールしました。
ハイキングもとってもとっても楽しかったです。
本当は私の組(3組)がゆうしゅう組になると思っ
たのに、ゆうしゅう組は5組でした。キャンプでた
くさん友だちができたし、キャンプもすごくすきにな
ったので、またキャンプに行きたいです。



キャンプの思い出

小牧第1団 カブ隊

しか 平手 創樹

ぼくは8月5日から7日におおがき市上石津のキ
ャンプ場に行きました。まず、キャンプではロウソ
クを作りました。ロウソク作りはむずかしくなかつ
たので、とても楽しかったです。後は、流しそうめん
がうまくとれなくて大変だったけどゼリーが流れて
きた時はうまくとれてうれしかったです。
ハイキングは山道で途中ちょっとつかれてヘトヘ
トになってしまってたキブアップになってしまつて残
念でした。でもハイキングはまたしたいです。
キャンプは楽しかったです。



心にのこったキャンプファイヤー

小牧第1団 カブ隊

しか 伊藤 陽菜

8月にカブたいのキャンプに行きました。

まずハイキングに行ったり、ながしそうめんを食べたり、水てっぽうを作ってゲームをしたり、ろうそくを作ったりいろいろなことをしました。

わたしが一番心にのこったことはキャンプファイヤーです。わたしの組はマル・モリ体そうをおどりました。むずかしかった所もあったけれどみんなで元気よくおどったので楽しかったです。

1年間楽しく2組のみんなと活動ができてよかったです。

楽しかった夏のキャンプ

小牧第1団 カブ隊

しか 島田 芽衣

わたしが、夏キャンプで楽しかったことは、キャンプファイヤーでカブのみんなで空を見ました。

空には星は出ていなかったけどほたるがひかっていた。ほたるが星のようにひかっていた。きれいでした。さいごに4くみだった子といっしょにおにごっこしました。楽しかったです。



カブに上がったよ

小牧第1団 カブ隊

うさぎ 岡野 桃子

わたしは、今年の9月にビーバーからカブになりました。わたしは、ビーバーのときにはおかあさんに、じゅんぴをしてもらっていたけど、カブたいでは自分でやらないといけなかったので、カブたいって

たいへんだなぁとおもいました。二年生の子は、4人しかいないので、もっと、友だちが入ってくるといいなぁとおもいました。

カブたいでいっぱい知らないことを、学びたいです。

スーパーカブ大作戦

小牧第1団 カブ隊

くま 友松 利敬

「よし、とうとうスーパーカブだ！」 ぼくは八月のキャンプで、念がんの『しかでスーパーカブを取る』ということをついに達成しました。ぼくはしゅうりょうしょうがもらえるのが、くまになる上進式になるかと心配しましたが、キャンプの時にもらったのでよかったです。ぼくはカブになってすぐ、しかでスーパーカブを取るということを目ひょうに、チャレンジ章を取っていました。最初にかんたんなものとか興味があるものをどんどんやっていました。はじめのころは母に「七行の表を作ってね。」と言われたとき、大小さまざまな四角を七こ書いてしまいました。それに、『画家』で母ののがおえを書いたときは、下絵はとてうまくかけたのに、絵の具で細かいところをぬるのが初めてだったので、ベタベタにぬってしまったりもしました。でもだんだんいろいろできるようになってきて、たとえば『動物愛ご』の時には、ペットのみゃあちゃんが午後八時四十五分にどこにいるかを一カ月調べました。ちゃんと毎日アラームをセットして、しっかりできました。チャレンジ章は時間がかかったり、やり方がわからなかったりしてたいへんだったけど、スーパーカブが取れてとてもうれしいです。くまでは組長をがんばります。

スカウトの日の思い出

小牧第1団 カブ隊

しか 天白 和希

スカウトの日にぼくたち4組は、アピタの近くへゴミひろいに行きました。ゴミがいっぱい落ちていました。たとえば、ビールのカンややきとりのくしが落

ちていました。1つ大へんなことがありました。おなじ組の子が水筒をおとしてしまいました。組長が探してくれて見つかりましたが、みぞの中に落ちていてびっくりしました。お昼ごはんを食べてから緑のぼきんをしました。いれてくれる人は少なかったけどたくさんあつまったと思います。次長になってはじめてのぼきんだったのできんちょうして少しつかれました。これからがんばります。

楽しかった夏のキャンプ

小牧第1団 カブ隊

くま 神谷 歩夢

ぼくは、8月5日から7日までかみいしづ緑の村公園バンガロー村にキャンプに行きました。キャンプファイヤーで、「マルモのおきて」の歌をカブのおきてに変えて歌にして発表しました。ぼくはタンバリンをやりました。きんちょうして大きな声では歌えなかったけどがんばりました。今度キャンプファイヤーで発表する時は大きな声でがんばりたいです。夏のキャンプは水てっぽうも作りました。とても楽しいキャンプでした。

組長になって

小牧第1団 カブ隊

くま 栗本 真有希

私は、今年組長になりました。進級式で、名前がよばれたとき、うれしさと私にできるかなという気持ちがありました。私の班は、私以外男の子しかいません。一人で心ぼそいけれど、もっとみんなとなかよくなりたいです。これから一年間組長をがんばろうとおもいました。

キャンプ

江南第3団 カブ隊 くま
安田 曜

ぼくは7月22日八曽の里キャンプ場でキャンプをしました。キャンプ場では大きなプ

ールや、川があり、プールには、みんながよろこびそうなスライダーもありました。

キャンプ場では夜カブト虫やクワガタ虫捕りをカブたい全員でやりました。でもあまりカブト虫などはみつからなかったけれど、女子トイレでミヤマクワガタをつかまえてよかったです。そしてキャンプ1日目は終わりました。2日目が始まりました。朝食などを食べ川にいきました。川では、小魚や、カニがたくさんいました。二日目の昼にはビーバー隊も来ました。そして2日目が終わるころカブはまた、虫捕りに熱中していて、大きなミヤマクワガタをつかまえることができました。カブ隊の最後のキャンプの日になりました。最後の日ではプールが入れて、スライダーで遊びました。それからひるごはんを食べて、家へかえりました。



ドッチビー大会

江南第3団 カブ隊

うさぎ 山本 なち

六月十九日、ドッチビーの大会がありました。はじめにラジオ体操のじゅんびうん動があって、けがをしないようにしてそれから一回せん目は、かちました。二回目の、相手は大口一団でとても強いチームでした。28・7にまで、「さ」が出るほどでした。お昼に、おにぎりを食べて たい長にかいちゅうでんとうと、ノートをもらいました。きゅうけいの

間に、さっそくノートに絵を書きました。

けっか発表があつて江南3団は、準優勝でした。そして、トロフィーやしょうじょうをもらいました。すごくキレイでした。くみちょうはプレゼントを、もらっていて、みんなが「ずるいよ。」と言っていました。ちょっとうらやましかったです。帰り、手がしびれました。



カブのキャンプは楽しかった

江南第3団 カブ隊
しか 熊崎 裕

カブのキャンプのとちゅうでペットボトルロケットをしたりカールじいさんの空とぶいえをみたりしました。そしていろいろなごはんをたべました。いちばんおいしかったのがマーボーどうふでした。キャンプはたのしかったです。ペットボトルロケットをとばしたらいちばんひくくいちばんおそくおちました。あるいみすごいなとおもいました。たのしかったです。キャンプでドロあそびやいろんなことをやりました。ペットボトルロケットの川らで林さんがウンピーをふみました。林さんはすごくおどろいていました。ペットボトルロケットをしたときみずがかかりました。つめたかったです。ただは、ゲリピー号としょうぶをしたらかちました。ゲリピー号はげひんかったです。いろいろあつたのしかったです。



カブキャンプとありますが、団行事の一環で親子交流行事 野遊び塾パート7です。夢小屋 代表片岡鉄雄先生をお呼びして、水ロケットを作成・打ち上げを行っている風景です。

ビバークハイキング

小澤 晴

僕は、10月22日と23日にビバークキャンプに行きました。その日天気は雨だったのでいろいろな事をやるのが大変でした。たとえば、フライをたてた後、フライに雨がたまってフライがたおれました。次は雨が降ってもたおれないようにきちんとロープをはりたいです。そのキャンプは班長になってはじめてのキャンプだったのでいろいろ分からない事がありました。リーダー達にいろいろ教えてもらいました。ぼくは、班長は難しいなあと思いました。でもこれからがんばって班長をやりたいです。



9月からカブからボーイになりました。

春日井3団
西尾 駿斗

カブ隊の時より楽しいです。その理由は、自分達の班で決めて活動ができるし班の仲間たちと一緒になんでも相談して考えることができるから自由に活動ができます。中学になると部活がはじまってあまり集会に出れなくなるかもしれないから、小学校のうちはがんばって出席したいです。

隊長にもサインをもらいたいです。

カヌー訓練

北名古屋第2団
BS隊副長 日比野 壽子

平成23年9月11日 北名古屋第2団のBS隊は 八百津町R & G海洋センターにてカヌー訓練をおこないました。カヌー訓練は我が団のボーイ隊の必須のプログラムで、カヌー、カナディアンカヌー、バナナボードを現地指導者のもとで体験しました。毎度ながら、スカウト全員が水上を自由自在でスイスイ進みます。みんなの船艇を繋ぐと波の揺れにも負けない安定感！しかし、バナナボードでは全員撃沈！水は冷たかったけど楽しい訓練でした。



赤い羽根募金

日進第1団 ボーイ隊
石 川

日進第1団では10月2日の日曜日に名鉄

日進駅で赤い羽根の募金を行いました。

ビーバー・カブ・ボーイの3隊からなる縦割りの3班編成で、10月にしては少し肌寒い日にもかかわらず1時間に渡り駅を利用する方々に大きな声で募金を呼び掛け、たくさんのあたたかい気持ちをいただきました。市の社会福祉協議会の方から集まった募金がどのように使われるのかのお話もしていただき勉強になりました



夏季キャンプ

江南第二団 ボーイ隊
岸 諒

8月6、7、8日の二泊三日で、江南二団での夏季キャンプが岩村にて行われました。久々にビーバーからローバーまで集結したので、とても楽しく先輩方や後輩たちと関わり合えました。



スーパーカブになりました

小牧第2団

杉井 秀彰（上進して現在はボーイ隊です）
僕は、スーパーカブになれました。理由は2つあります。1つめはみんなの協力があったことです。2つめは、自分がかんばったことです。どちらかが欠けても、僕は、スーパーカブにはなれなかったと思います。これからは、菊・富士章をねらってがんばりたいです。



お祭りに参加しました

瀬戸1団 ボーイ隊 トナカイ班
班長 加藤 葵

9月24日に瀬戸の招き猫祭りに参加しました。ボーイ隊はみんなでフェイスメイクをしてもらい、街をねり歩いてお祭りを盛り上げました。男子の中には最初恥ずかしがっていたスカウトもいましたが、みんなカメラを向けると、猫のポーズ(笑)がとてもかわいかったです。



9月からボーイになりました

春日井3団 カブ隊
山崎 有海

11月のハイキングで10キロメートル以上歩きました。こんなにたくさん歩いたのは初めてでした。地図をみながら歩いたのですが、とちゅうで、道をまちがえて遠まわりをしましたが、新しい仲間といっしょに、つらかったけど楽しめました。

温泉にも入れたので よかったです

22WSJに参加して

瀬戸第6団 ボーイ隊
副長 野村 勝美

第22回世界スカウトジャンボリー(22WSJ)が7月27日(水)~8月7日(日)までスウェーデンにて開催されました。世界中のスカウト約4万人が一堂に集まり“ シンプル・スカウティング ”のテーマのもと、スカウトらしいキャンプ生活を行いました。日本からも約1,000人のスカウトと指導者が派遣されました。私は15隊の副長として尾張ブロックおよび名古屋のスカウト共に参加しました。



好評だった鳥居型ゲート

7月27日ジャンボリー会場への入場と設営は好天に恵まれました。テントを立てゲートを作り、とすべて順調でした。ゲートは日本からわざわざ持って行った赤いペンキを使って神社の鳥居のように作りました。スカウトの計画に任せていたのですが、出国時にペン

キを持っていくと聞き何を考えているんだと思いましたが、出来上がりを見てあっぱれでした。この赤色は結構目立ち、立ち止まって記念写真を撮っていく外国スカウト続出でした。残念ながら 28 日は朝から雨。夜には開会式があるというのに…。一気にテンションが下がりました。この雨は 3 日間降り続けました。30 日の夕方に雨が上がり、日が差ししてきたときにはサブキャンプ中から歓声が沸きおこりました。スカウトの毎日は、朝起きたら朝食とお昼のお弁当作り。朝食が終わったらお弁当を持ってプログラムへ出発。夕方に戻ってきたらマーケットへ行って食材の買い出しと、夕食作り。夕食後は班会議と班長会議。この合間をぬって洗濯やシャワーもします。それから外国スカウトとの交流会もしました。結構忙しいです。日本ジャンボリー(NJ)では食事作りの手間を省くためにレトルト食品が多かったようですが、WSJ ではそうはいかず班ごとに全てスカウトが手作りしました。原隊でやってきた成果の見せ所でもあります。また、前回イギリスでの WSJ では配給制だったそうですが無駄が多かったと言うことで、今回のテーマ“シンプリー・スカウティング”にそって無駄を無くすためにマーケット方式でした。この方式だと余った食材を廃棄することはありませんが、どうしても使いやすい食材ばかり買ってきて、自分たちが作ったことのあるものを作ってしまうがちで、配布されたクッキングブックを参考にして外国料理にチャレンジすることはあまりなかったようです。その点が、少し残念に思いました。外国スカウトとの交流のひとつに記念品交換がありました。日本のワッペンやハッピーそしてポケモンのチーフリングはとても人気がありました。チーフリング 1 個が数枚のワッペンと交換できたり、ハッピーがとてもしっかりしたコートに変わったりと誰がどんないいものに交換してくるのが楽しみでした



ドイツ隊との交流会

31 日以降は晴天が続き最高気温が 25 ないぐらいで、朝晩は上着がないと肌寒いですが、湿度が低いのでとても過ごしやすい気候でした。ちなみに、日の出は 4 時、日の入りは 22 時でした。

8 月 4 日は《カルチュラルデー》でした。それぞれ自国の文化を紹介します。我が 15 隊は、お好み焼きとたこ焼きを作り、書道や折り紙を紹介し、AKB48 の踊り(これが日本文化？年寄りからすると疑問)を披露しました。お好み焼きやたこ焼きにのっているかつお節は外国人には木くずにしか見えなかったようです。

『This is dry tuna.』と言って実際に食べて見せてようやく納得して食べてもらえました。食文化の違いを痛感しました。6 日夜は閉会式なのでプログラムは前日までに全て終了し、朝から撤営準備に入りました。ゲート等の工作物を解体したり、翌日が雨の予報だったのでテントを半分の数に減らしたりしました。

『ああ、もうこれで終わりなんだ。』長かったような短かったような複雑な気持ちでした。夕方、閉会式に出席するため私が D パックを背負っていたらあるスカウトが『何か持って行くんですか？』と聞いてきた。『一応カッパをね。』と答えたら、快晴の空を見上げながら『降らないっすよ。』と言ったので『“そなえよつねに” かな。』そんな会話をするほどのい

い天気だったのに、閉会式開始から 30 分もたたないうちに土砂降りの雨が降り出しました。ほとんどのスカウトが雨具を持たずに行っていたのでびしょ濡れになりました。“そなえよつねに”を思い知らされた一場面でした。雨に始まり雨で終わった WSJ でした。



スウェーデン隊との交流会

とても印象的だったのは、開会式と閉会式で大会ソングを参加者全員で合唱したことです。約 4 万人の心がひとつになっていました。この気持ちは実際にその場にいないと味わえない事です。これまで、WSJ は雲の上の話だとばかり 思っていました、今回参加してみてスカウト活動をしていれば誰にでも参加できるものなのだと気づきました。4 年後の



キャンプファイヤー

23WSJ は日本・山口県にて開催されます。そのときには一人でも多くの瀬戸 6 スカウトに是非とも参加してほしいものです。参加対象は 1998 年夏から 2001 年夏生まれです。現在

のカブ～ボーイ年代のスカウトが該当します。これより上のスカウトには IST(国際サービスチーム員)や指導者として参加可能です。IST は縁の下の方力持ちです。今大会も多くの IST の支えによって成り立っていました。やりがいのある役務だと思います。また、2001 年夏以降生まれのスカウトは 8 年後のアメリカで開催される 24WSJ を目指して下さい。スカウトとして参加できるのは一生に一度しかありません。外国のスカウトと交流し見聞を広めひと回りもふた回りも大きく成長できるチャンスです。こんな夢を持って今後のスカウト活動が続けてみて 下さい。ただし、参加するためにはスカウト技能だけでなく体力・精神力・英語力を身に付けておいて下さいね。



スウェーデン指導者アンニャと一緒に

今回初めて混成隊の指導者をさせて頂きました。これまで瀬戸 6 しか知らなかったのも、他団の指導者およびスカウトと接し、色々と勉強させて頂きました。この経験を今後の活動に生かしていきたいと思います。

韓国ソウル北部連盟キャンボリーに参加して

ボーイスカウト春日井 10 団

犬飼 陽介

8 月 8 日から 15 日までの 1 週間、僕は韓国のソウル連盟キャンボリーに参加してきました。このキャンプで一番感じたことは、言葉の壁でした。韓国スカウトとはカタコトの

英語で会話をしていましたが、やはり伝わらないこともあり、ジェスチャーを交えながら必死になって伝えていました。「言葉」というものの大切さを感じるキャンプでした。



団紹介

北名古屋第2団

団委員長 伊藤 伸二

北名古屋第2団は、昭和54年(1979年)に師勝第1団として、地元の名士の方々のご尽力と西春日井1団(現清須1団)等のご指導を得てカブ隊のみで発足しました。平成18年(2006年)に師勝町と西春日井が合併して北名古屋市が誕生し団名も北名古屋第2団と改名しました。最近の15年間は概ね指導者30名とスカウト50名で推移してきました。直近では女子スカウトの増加とスカウト総数の減少が見られます。これからも先輩諸団のご指導ご援助をよろしくお願い致します。



創立60周年記念キャンプ

庄内川の河原で思い出のキャンプ

清須 第1団 ローバー隊

榊 原

私が、清須第1団のスポークスマンです。今回のキャンプも新聞発行してきました。



このキャンプは、清須第1団が昭和26年9月創立し、60周年を迎えた記念のキャンプです。昔の写真の中には、創立10周年でキャンプをしている写真もありました。キャンプ場は、清須市水防センターの下の庄内川河原で、名古屋駅の高層ビルよく見える場所です。9月20日の台風15号の影響で、この河原も浸水し、堆積物が多く残る状況でしたが、市役所の復旧作業のおかげで、10月8日から10日のキャンプに間に合わせていただきました。キャンプには、北名古屋、岩倉、江南からボーイ隊、ベンチャー隊のスカウトがいっしょに参加していただき、友情を深めることができました。特に、2日目には、庄内川に住む生物を調べるため、「がさがさ」をしました。小さなえび、ヤゴ、小魚などがたくさんすんでいました。また、食事ではダッチオーブンを使いパンを焼き、そして、鶏を丸々1羽蒸し焼きにしました。とても楽しいキャンプを多くの友達と楽しむことができました。



創立60周年記念式典を開催

清須第1団 団委員
岩花

秋晴れの10月8日(土)、清須第1団創立60周年の記念式典を開催しました。

当日は、清須市長、地区委員長、地区コミッショナーを来賓にお招きし、また清須市隣接の団スカウトにも出席していただき盛大に開催することができました。

清須第1団は、昭和26年9月、尾張地区で初めてのボーイスカウト隊として西春日井第1隊と称し活動がスタートしました。その後、西春日井第1団に改められ、平成17年7月7日には、活動拠点であった新川町が、清洲町、西枇杷島町と合併し清須市となったのを機会に、同日、清須第1団に団名を変更しました。現在は、春日町も清須市の市域に含まれるようになり、小学校8校、中学校4校を範囲に持つ団になりました。途中、リーダー不足、隊資金の枯渇と何度か危機がおとずれ、連盟登録が切れたときもありましたが、活動だけは、続け隆盛を見ることができました。しかし現在は、少子化、多様化などスカウト数が激減し、苦慮しているところです。その中で、女子スカウトの受け入れ、ビーバー隊を5年前に発足、ローバー隊を3年前に発足し標準団の仲間入りができました。

これを機会にスカウト運動の原点に帰り、ちかいとおきての実践に努め、「地域社会と

世界に役立つ人」を育ててまいります。
今後ともご支援をお願いします。



ファイヤーダンス

江南第二団 ベンチャー隊
浅井 里菜

団キャンプでファイヤーダンスをするので、1ヵ月前から練習をしていました。なかなか全員集まることができず、完成したのはキャンプファイヤーが始まる1時間程前でした。失敗もありましたが、最後までやりきることが出来ました。



世界ジャンボリーに参加しました

日進第1団 ベンチャー隊
遠渡 季音

私は今年の夏、スウェーデンで行われた世界ジャンボリーに参加しました。私の隊ではドイツとの交歓を企画、日本の文化として

書道などを紹介しました。この隊交歓意外でも色々な場面で国ごとの文化の違いを感じ、日本人であること、そしてスカウトであることに誇りを持つことができ、とてもいい経験になりました。後輩スカウトにも、チャンスがあればぜひ参加してほしいです。



WSJ 参加報告

日進第1団 ベンチャー隊
三宅 章夫

僕は今回の WSJ でいろいろな経験をさせてもらいました。そこではいろいろな国のスカウト活動を見て改めてボーイスカウトはすごいと思いました。これからは自隊や WSJ でできた仲間とスカウト活動に取り組んでいきたいです



ターゲットパッチ完修

春日井第2団 VS 隊
原崎・船橋・水野

初めは53個と多い数、無理だと思っていたけど、全部取ることができてすごく達成感がありました。頑張ったかいがあったと思います。

私達は活動が大好きなので、楽しく取ることができました。今後も頑張ります。



世界ジャンボリーに参加して

大口第1団 ベンチャー隊
石岡 暁雪

世界ジャンボリーの訓練キャンプなどで同じ隊の人たちと仲良くなり、会場についてからはまた一層仲良くなったと思いました。はじめはお互いに遠慮していたところとかあったし、ケンカをしたりしていたこともありましたが、でも、長い期間一緒に活動して、どう向き合えばいいかもわかり、とてもいい経験ができたと思います。他の地区の人と一緒に活動することは少ないし、仲良くなる機会もめったにないので、仲良くなった人たちとまた一緒にキャンプや遊びに行ったりしたいと思いました。



世界ジャンボリーに参加して

春日井 10 団 VS 隊
楠瀬 大志

僕が参加した 22WSJ は、今まで培ってきたスカウト経験を十分発揮できる場であり、自分を大きく成長させる場でもありました。だから、現地での経験を将来につなげて、社会に貢献できる大きな人間になっていきたいです。



「世界ジャンボリーに参加しました」

春日井第 5 団ボーイ隊
平山 凱野

7 月 27 日～8 月 7 日にかけて僕らは世界ジャンボリーに行ってきました。僕は 2 回目の募集で応募したので混合隊になるかもしれないと言われていました。でも行きたかったので応募しました。でも僕は愛知 15 隊としていくことが出来ました。

僕は中学 2 年で最年少としていきました。僕達は大会期間中にさまざまなプログラムや他の国のスカウトと交流をしたりしました。プログラムの中には朝の 4 時に自分のテントサイトまでもどったものもありました。時にはリーダー方にも怒られました。でも僕は 2 週間と少しを何も無いところで過ごしたのがとても良かったです。

今回の世界ジャンボリーがなぜスウェーデンで行われたかというスウェーデン国王が

ボーイスカウトに関心を持ってくださっているのでスウェーデンになったそうです。次の世界ジャンボリーは日本の山口県のきらら浜というところで行われるので皆さんも家の人に頼んで行ってきてください。

とても楽しかった初めての世界ジャンボリーでした。

指導者になって

犬山第 5 団 カブ隊隊長
杉本 京子

今年（平成 23 年）の 9 月から、カブ隊隊長の任に就きました。スカウト保護者・デンリーダー・団委員・地区健康安全委員としてのお手伝いしかしたことのない私は、どのような技術・資格・体験を教えられるのか、どんな活動プログラムを行ったらよいのか、考え悩んで、模索していました。そんな矢先、日本連盟初代総長 後藤新平氏が言い残した『よく聞け・・・人を残して死ぬ者は上だ。』との言葉を見つけた時、大変感銘を受けました。私は、子供達に技量を教えることを優先し、スカウト運動の目的を見失いかけていました。健康に気をつけ、人生に役立つ技能を体得し、誠実で勇気をもって、社会に奉仕できるような器量にすることがスカウト運動の目標だったことを思い出しました。初代総長の『人を残すこと』とは、まさしくスカウト活動そのものだと思います。プログラムの種類でなく、活動内容をいかにスカウト個人の人生に役立つものに展開していくことができるかが、指導者に求められているように感じました。そこで、指導者のさだめとして

- 1．健康に気をつける。
- 2．誠実である。
- 3．寛大である。
- 4．人と比べない。

5. 不平不満を言わない。

を深く銘記し、慈(いっく)しみの心を持って
永遠のスカウトでありたいと思っております。



世界への一歩

江南 1 団 ベンチャー隊
生駒 隼輝

今回の 22WSJ に参加し、普段の生活では体験できない素晴らしい体験を沢山することができました。ジャンボリー期間中、いろいろなモジュールアクティビティ等のプログラムをこなしてきましたが、最もよかったと思うのはハイクインキャンプです。ハイクインキャンプでは開催国であるスウェーデンのスカウトと一緒に回ることになり、日本人だけで回っていては知ることが無かつたろうスウェーデンの自然に関する知識を得ることができました。ハイクインキャンプが終わっても一緒に回った隊との交流は続き、2 度の交歓会を行ってお互いの国の料理やゲームを披露しながらより深い交流をすることができました。毎日のようにあったモジュールアクティビティでは説明を聞いて活動をするため、今まで疎かにしてきた英語力の大切さを思い知らされました。班長だけが呼び出されて説明を聞く時には 1 人で何とかしなければいけなかったのが苦労しながら聞いていると、英語を母国語としない国のスカウトでもしっかり説明を理解していて「日本人は英語に弱い」と言われる理由がわかったような気がしました。しかし、ジャンボリー半ばを過ぎたあたりから徐々に単語が聞き取れるようになって

きました。相手の話しが理解できるようになって来るとコミュニケーションがとれるようになり、自分から外国のスカウトにも話しかけることができました。班長としてこのジャンボリーに参加しましたが、長期キャンプで班長をやるのは初めての経験だったためうまくいかないことも沢山ありました。時間とルールをしっかり守って活動させられるよう普段から気をつけるようにし、次回のジャンボリーにはこの経験を生かしてリーダーとして行きたいと思います。いろいろと問題もありましたが、今回のジャンボリーでは学ぶことも沢山あったので、これからの原隊での活動の中で少しずつでも改善していき、4 年後の山口である世界ジャンボリーでは原隊から代表として行くスカウトを何人も出せるようにしたいと思います。また、自分自身も副長として参加したいと思っています。

【編集後記】

組織委員会広報部会では「スカウトの顔が見える機関誌を作ろう」を基調にして、このたび、地区の活動報告を広報誌として発行することになりました。

創刊号は、皆様からの「元気」がいっぱい詰まっている原稿で、新生尾張東地区の船出を飾るにふさわしい広報誌とすることができました。

広い地区の中で、スカウト諸君がどのような活動を、活躍を、チャレンジをそして貢献をしているか、今後もスカウト諸君からのメッセージという形で伝えていきたいと思っています。あなたからのメッセージは、みんなを元気づけるのですから。

「次はあなたからのメッセージです」

「我が団の名物指導者を紹介します ・ 第1回」

1. 自己紹介

所属団 : 尾張東地区 瀬戸第6団
氏 名 : 林 尊 浩
生年月日(団のヒミツ) : さそり座 ねずみ年
スカウト活動暦 : 7年
指導者活動暦 : 11年
趣 味: テニスと読書

2. ボーイスカウト活動に関わったきっかけ

自分が子供のころスカウトであった。
自宅の近くにスカウトハウスがあった。
自分の息子をボーイスカウトに入隊させた。

3. 我が隊の自慢

我が隊の自慢は、何といっても可愛くて愉快的なスカウト達です。
そして、才色兼備のDLと野獣の副長・・・
ホントに「美女と野獣」の様な隊指導者です。

4. ボーイスカウトをやっていて良かったこと。

毎年上進時期に、BVS から上進してきて、
BS に送り出すときの子供たちを観ていると
CS 課程の3年間は、本当に体も心も成長
して、子供たちにとって大変大切な成長の
時期を共に過ごせたと感じるとき・・・
あ～っ！良かったと心底思います。

5. 失敗談

スカウトに知ったかぶりをすることです。
失敗談ではないですが、自分が出来ないことを
スカウトに指導したり、実施することは、失敗する
し、見抜かれます。

6. 得意なプログラム

得意なプログラムというか・・・
スカウト達と「話す」ことコミュニケーションです。

7. 活動の無い休日の過ごし方

活動の無い休日は、仕事をしています。
あとは、体のメンテナンスです。

8. 我が隊のスカウトにひとこと

今、出来なくても
今、知らなくても
決して、人と比べたり、
自分を諦めることをしないこと！
これからの多くの体験と知識は
自分を成長させ、自分の可能性を広げてくれます！

9. 次回は知人ぞ知る、あの日進2団ボーイ隊長の佐藤さんを紹介します。

Q: その方とのかかわり(どんなつながり)

特に別段のつながり、かかわりはありません。
が、旧尾張東エリアで佐藤さんカブ隊長をしていたころから、「真面目で言うことはキチンと
言う姿勢」がスカウトにも伝わり、日進2団を盛り
上げていると感じていました。
日進2団の名物隊長の一人だと思います。

メ ッ セ ー ジ

BS 実習所お疲れ様でした。
より一層愉快で楽しい、スカウトに
とって頼もしい隊長でいてください！

今回から自他共に認める優秀な指導者をリレー
形式で、楽しく紹介していきます。

おたのしみに